

## 伊達市環境審議会会議録 要旨

会議名称	平成30年度 伊達市環境審議会（第4回）		
議 題	○議事 ・第3回審議会の振り返りとパブリックコメント結果について ・第3次伊達市環境基本計画（案）について ・答申（案）について		
開催日時	平成31年2月28日（木）10時00分～11時05分		
場 所	市役所第2庁舎第1会議室		
出席者	出席委員10名（欠席委員4名）、日本データサービス株式会社1名		
	所管部課名	経済環境部長、環境衛生課長、環境衛生係主査 計3名	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p><b>【会議の概要】</b></p> <p>1 開会 環境衛生課長より欠席委員4名及び委員定数14名中、10名が出席しており、会議が成立していることを報告。 開会にあたり結城会長より挨拶。</p> <p>2 議事 (1) 前回審議会（第3回）の振り返りとパブリックコメント結果について 事務局より以下のとおり資料1を用いて報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回審議会の開催日時は、平成30年11月21日の午前10時から。</li> <li>・議事は、第2回審議会の振り返りと第3回審議会までの経過を事務局から説明し平成30年度版環境白書の本編・総括編への市民意見と市からの回答について説明を行った。意見の内容は、CO<sub>2</sub>削減に関することや海洋汚染に関することなど。最後に第3次伊達市環境基本計画案について計画書の構成や基本目標の記載の並び順、設定した関連指標などについて事務局から説明し、ご意見をいただいたという流れであった。</li> <li>・また、環境白書や環境基本計画に関すること以外にも環境問題は、地方自治体が扱うには大きすぎる国や世界レベルでの取り組みが必要なものもあるが、身近な問題に目を向けることで環境意識の底上げに繋げていくことが重要。 審議会も焦点を絞り議論していくことが求められてきているという意見があった。</li> <li>・昨年12月26日から今年1月24日まで募集したパブリックコメントの結果について、意見の提出はなかったが、計画書の体裁など事務局で気が付いたところの改良を行い、現在の計画案となっている。</li> </ul> <p>&lt;質疑・応答&gt; 特になし。</p>			

(2) 第3次伊達市環境基本計画(案)について

事務局より以下のとおり資料2を用いて説明。

- ・前回審議会までの計画案で構成は、ほぼ固まっていたが、パブリックコメントを行ったのち、体裁を整理し加飾したものが現在の計画案で、完成版に近いものとなっている。

計画の進行については、基本目標と体系に沿って、ごみやリサイクルなど生活に関する身近なものからCO<sub>2</sub>排出削減など地球環境に関することまで、その結果を毎年点検・評価し、環境白書としてとりまとめ公表し、意見を募集するという流れが今後10年の大きなサイクルとなる。

また、各基本目標に定める関連指標のうち、市民アンケートに関する項目については、計画期間5年終了時の中間総括に併せて再度市民アンケートを実施し、評価する予定としている。

<質疑・応答>

委員：現在のものが完成版に近いとのことですが、まだ内容に変更が生じるようですか。また、完成版は再度審議会を開いて説明するのでしょうか。

事務局：文言など細かい部分の修正や訂正など発生する可能性がありますが、公表は当初の予定どおり3月を予定しています。

なお、完成版は、公表と同時に委員皆様へお配りする予定です。

委員：昨年から審議会を開催していますが、計画書の変更点などについての解説があれば良かったです。流石に内容すべてを見比べることは難しいと思います。

NDS：内容についての大きな変更点はございませんが、表などデザインの見直しを行っていたりします。

事務局：委員の仰る通り配慮が欠けていましたため、次年度に向け改善します。

委員：資料内グラフで、一部色合いの影響で数値が読めないところがあります。

事務局：レイアウトを見直し、数値をグラフの外に出すように変更します。

会長：市民の方が目にしたとき、分かりやすく、また興味を持ちやすくなるようして下さるようお願いします。

委員：せっかく作った計画をどのように広め、知ってもらうかが重要で、どのような方法で行っていく予定ですか。

事務局：計画の内容は、環境衛生課の業務を凝縮したようなものとなっています。パブリックコメントでの意見が無かったとはいえ、市民皆さんの関心があるのは、生活環境に密着するものであると思います。

ごみの分別や投げ方の問い合わせなどは、ほぼ毎日環境衛生課に寄せられている状態で無関心ではないのかなとも思いますし、計画の内容でも分野によって皆さんの興味の度合いが分かれていると思います。(続く)

(続き)

こういった状況から、幅広い環境の分野について興味を持ってもらうにはどのような周知が効果的か日々の業務を行いながら模索している状態で、まず環境基本計画を知ってもらう工夫が必要と考えています。

会長：一昔と比べると今は、環境問題に対する関心は下がってきていると思います。ごみ拾いなど今ではもう当たり前で慣れてきているところもありますが、興味を持ち続けてもらうようこれからもお願いします。

委員：計画にある関連指標が市民に関わりがあるところだと思いますが、例えばごみやりサイクルに関係するところで目標に向けた取り組みについて、市民向けにわかりやすく発信していくと良いと思います。

事務局：取り扱うテーマは大きなものから身近なものまで様々で、皆さんが興味を持たれるところもそれぞれだと思いますが、ごみなどの身近なものほど関心を持ちやすいところであると思いますので今後の発信でも重要であると考えています。

会長：生活環境に関わることで不法投棄や野焼きの状況はどうなっていますか。

事務局：ゼロとはいきませんが、全体的に下がってきている印象です。しかし、通報がないだけなのか、本当に無くなってきているかは事務所にいるだけではわからないので、毎日とはいきませんが市内をパトロールして回っています。

委員：伊達ではあまりないかもしれませんが、これから外国人労働者が増えてきます。ごみ出しパンフレットなども外国人に対応した対応も必要になってくると思います。

委員：一次産業では既に外国人労働者の受け入れを行っている企業がありますがトイレの紙を流す文化がないため、昔ある店舗のトイレが汚れるということがありました。その時はその国の言語で「トイレの紙は流せます」という掲示を行って対応したと聞いています。

部長：最近では、受け入れ企業による外国人への職場内研修や教育にも力を入れてきているようです。

委員：生活環境に関連して開拓記念館周辺のカラスの被害の対策についてお聞きしたいです。

事務局：巢の駆除などはこれまでも行ってきましたが、カラスそのものに対する根本的な対策は難しいというのが現状でして、ごみの適正処理など間接的に行っていくしかないと思います。

部長：仮に市内全てのカラスを駆除したとしても市外から飛来して元に戻るの難しいところです。海外には、街中でカラスを見かけない国もありますが、原因は大気汚染と考えられています。

委員：業務で電柱にできたカラスの巣を毎年500ヶ所くらい撤去しています。

巣を作らせないように仕掛けをしていますが、あまり効果がないです。

市街地周辺の樹木の伐採で市街地に集まってきているようなので、環境の変化も関係していると思います。

委員：もう一点、ごみ減量化の関連指標について目標値に近づくための取り組みとして、どの様に取り組んでいく予定ですか。

事務局：現在排出されている家庭系ごみから生ごみや空き缶、ペットボトル、紙類小型家電などどれだけリサイクルに回して差し引けるかに懸かっています。回収率を上げるための啓発などが必要であると考えています。

委員：昔プラスチック類のリサイクルをやっていたと思いますが、今やっていないのはなぜでしょうか。

事務局：以前、指定袋でプラスチック類を分別収集していた時期がありましたが、リサイクルする業者や方法との折り合いがつかず現在の状況となったと聞いています。

委員：計画書地域の概況で大滝の気象に触れていますが、下段のグラフ同様に伊達地区と大滝地区の状況を大きく分けて記載したほうが分かりやすいと思いました。

あと、全体的に西暦をメインに元号をカッコ書きで記載していますが、グラフはほぼ和暦表示になっていますので、統一するなどもう少し工夫が必要だと感じました。

最後に市民へ情報を届けたいとき、この計画の情報量ですと中身が見えづらいと思いますので、大きなポスターやリーフレットのようなかたちで、市民に直結する必要な情報を抽出して届けられたら良いと思います。

例えばQRコードなどを使い、さらに詳しい情報へアクセスしてもらうなど、まずは入り口から情報提供を始めると良いと思いました。

ホームページなども工夫して手軽にスマホなどでも見られるような内容ですとわざわざパソコンを開いて…というようなことにもならず、親しみやすくなると思いました。

事務局：100ページある計画書をどんと提示して市民の皆さんへ見てくださいというのも無理があると思いますので、幅広い分野のうち、例えばごみに関する事などスポット的に周知していくようにできればと思っております。

### (3) 答申（案）について

事務局より資料3に基づき説明。

・平成30年7月31日付で諮問した平成30年度版環境白書と第3次伊達市環境基本計画

(続く)

(続き)

について、答申とは区別するかたちでそれぞれ付帯意見を2点ずつ記載したものとなっている。

<質疑・応答>

委員：5月から元号が変わる予定ですが、これからは西暦に統一したほうが良いかと思います。

事務局：行政として作成する計画や報告文書などは、西暦のみというのがなじまなくなっており西暦、和暦の併記としておりますので、ご理解いただきたいと思ひます。

委員：次世代エネルギーパークの市民見学会というのを以前実施していたと思ひますが、参加者が少なく最近は開催していないと聞きました。

今後、新たに宣伝などをして継続していくのかお聞きしたいです。

事務局：次世代エネルギーパークは、事業計画を作成して国の認定を受けているという形式になっています。

市民見学会については、市のバスを使うことになりまますので最低参加人数が求められるところですが、近年は募集しても達しないことから実施を見合わせています。

今後、事業計画そのものの見直しも含めて検討が必要な時期となっていますが、エネルギーに関することは、地球環境に繋がっていくことですので先行きは不透明ですが、市民見学会とは別の形でも学習の機会として市民の皆さんに周知していく必要があると考えております。

委員：グラフの内訳で色分けして注釈しておりますが、環境白書なども含め、分かりやすくしてほしいと思ひます。

3 その他

事務局より答申のスケジュール等についての連絡、これまでの審議についての謝辞。

・答申書については、本日の審議を踏まえ会長、副会長と事務局で日程調整をさせて頂き、後日市長に答申する予定としています。

今年度の審議会は、今回が最後となりますが、これまでいただいたご意見をもとに今後の審議会に反映させていきたいと思ひます。

また、第3次環境計画を市民生活にどのように結び付けていくか、これからの課題として進めていきたいと思ひます。

これまでのご審議につきまして委員の皆様、誠にありがとうございました。

4 閉会